

システムモール2006開催



平成18年8月29日(火)、札幌コンベンションセンターにおきまして、「システムモール2006」を開催いたしました。この度は、ユーザー会ならびに基調講演(総務省 北海道総合通信局 情報通信部 電気通信事業課長 成田隆様、株式会社HARP 取締役総務部長 近藤晃司様)、公認会計士である高野一夫先生による“消費税セミナー”、協力会社様のご尽力によるシステム展示会を行い、大変お忙しい中、100名近くのお客様にご来場いただきました。これもひとえにユーザー様のご支援の賜物と、システムバンク社員一同、心から感謝しております。システムモールも今年の開催で4回目を数え、来年には区切りとなる5回目を迎えることが出来ます。今後も数多くのユーザー様に様々な情報を提供できるよう、社員一同日々精進してまいりますので、来年の「システムモール2007(仮称)」へも是非ご参加いただけるよう、お願い申し上げます。

■基調講演

- 第1部 『IT新改革戦略始動～インフラ拡充で行政サービスはどう充実させられるか』
- 第2部 『HARP! STEP! JUMP!』

■システム展示会

- 『物産直売支援システム・高齢者見守りシステム
地震予測システム』
株式会社NTT東日本-北海道
- 『モバイルによる災害・
セキュリティソリューションの展開』
株式会社NTTドコモ北海道
- 『行政運営支援サービス FAST』
ジャパンシステム株式会社
- 『ITソリューション QND TJ WebManager』
東芝情報システムプロダクツ株式会社
- 『簡易GISツール Magic2』
株式会社マイスター
- 『アリバイ管理システム カルテR』
株式会社アクトシステムズ
- 『公営住宅管理システム 住まいるGS+Web』
- 『看護師勤務表作成システム セルヴィス』
システムバンク株式会社



基調講演風景



展示会風景



消費税セミナー風景

■業務システムユーザー会

- 『住まいるシリーズ』 『確定申告支援システム』 『公営企業会計システム』 ※消費税セミナー同時開催



システムモール2006の当日アンケートにお答えいただいた方の中から厳正なる抽選の結果2名様に、Apple Computer, Inc製「iPod nano」を贈呈させていただきました。

今年度新入社員紹介



名前:藤井 貴康
出身地:長沼町
出身校:北海学園大学
部署:営業部
趣味:ボクシング、演劇鑑賞
抱負:早くお客様に頼られる
くらいの営業マンになりたい
と思います!!



名前:岩崎 一起
出身地:札幌市
出身校:小樽商科大学
部署:開発部
趣味:読書、映画
抱負:一日でも早く一人前の
技術者となるようがんばり
ます。

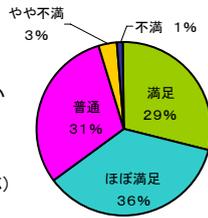
お客様アンケート結果

弊社では自社のパッケージシステムの使用において不満や不便がないか、マニュアルに不備はないか、また社員の対応は満足のものか等を顧客アンケートとして定期的に調査を行っております。回収した結果から問題点の洗い出しと改善策の検討・ご提案といったサイクルでお客様の意見をダイレクトに反映させる仕組みになっております。以下は今回のアンケートの結果になります。

営業部門

評価内容

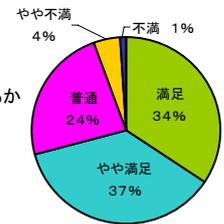
- ◇電話や訪問時の言葉遣い、礼儀について
- ◇システム・価格・納期などを明快に説明しているか
- ◇お客様からの要求事項を正しく理解しているか
- ◇お客様に対する提案力(知識や動向、技術情報)について
- ◇進捗管理(進捗状況の把握・報告と遅れへの対応)
- ◇約束した事項の実行・納期の遵守について



開発部門

評価内容

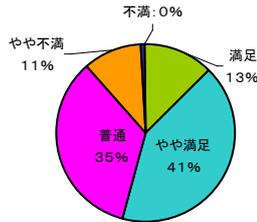
- ◇電話や訪問時の言葉遣い、礼儀について
- ◇システムの機能、例外、操作などを明確に説明しているか
- ◇お客様からの要求事項を正しく理解し、対応しているか
- ◇当該業務知識・コンピュータに関する知識・信頼の度合
- ◇お客様に対する情報提供(動向・技術情報)について
- ◇約束した事項の実行・納期の遵守について



システム/プログラム部門

評価内容

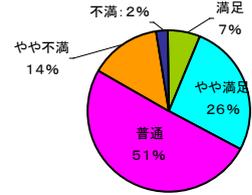
- ◇機能(お客様が要求している事項への適合度)
- ◇性能(処理速度・応答速度)
- ◇精度(処理結果・表示数値等)
- ◇信頼性(不具合等で停止することがないか)



マニュアル部門

評価内容

- ◇取扱説明書全体の使いやすさ、わかり易さ
- ◇取扱説明書でこの処理機能をわかりやすく説明しているか
- ◇設計資料等のわかり易さ



総合評価としては、昨年より若干ですが満足度が向上した結果を頂いております。アンケートの結果あまりよい評価をいただけなかったところを社内で検討し、早速対応に当たります。

●アンケート実施手法の一部改正について

以前からのアンケートより厳しい評価を頂いておりましたマニュアル部門に対し、改善策検討のため詳細な分析資料として、詳細なアンケートも同時に実施することとしました。大変お手数とは存じますがご協力をお願いいたします。

今後もシステムや社員の品質向上に向けて一同一層の努力を行いたいと思います。ご協力、誠にありがとうございました。

Webサイトのリニューアル

この秋、弊社のWebサイトを大きく改良いたします。お客様にとってよりわかりやすい構成を基本に全体を再構築し、弊社で自主開発している各パッケージシステムのご紹介もより詳細で密度の濃い内容へと変更を加えました。

またパッケージ毎に「よくある質問と答え」のページを新たに作成し、弊社営業時間外でもお客様の問題に対応できるよう更新を続けていきます。

さらに定期的に公式ブログとスタッフブログを更新するという新たな試みも始めます。ブログを利用することで弊社社員がどんな人間かを知ってもらおうとともに、業務のお話から趣味の話・雑談など幅広い話題でよりお客様との距離を縮めることができたらと考えております。

正式な公開は11月30日を予定しています。一層内容を充実させて参りますので、今後とも弊社をどうぞよろしく願います！

弊社Webサイトと合わせて、病院様向け勤務表作成ソフト「セルヴィス」の公式Webサイトもよろしく願います。

弊社Webサイトが
大幅にリニューアル
します！

■システムバンク公式Webサイト
<http://www.sbn.co.jp>

■セルヴィス公式Webサイト
<http://servis-net.jp/>

社員コラム ～地方公共団体における「ガバナンス」

日本版SOX法が開始され、民間企業は「ガバナンス」の下に企業内の統制が始まっています。これは業務におけるプロセスそのものはもちろんのこと、業務プロセスに組み込まれているコンピュータシステムも統制下におかれることとなります。そのためシステム化の在り方や運用方法もパラダイム的にシフトし始めています。私どもの最大の顧客である地方公共団体も「アウトソーシング」「共同アウトソーシング」といったキーワードで新たなロジックが認知されてはいますが、実態は停滞しているように思えます。

その最大の原因として、はっきり言ってしまうと地方公共団体が今まで運用してきた業務プロセスを変えようとしていないことがあげられます。確かに担当者は今まで運用してきた業務の流れを変えたくない、と考えるのは良くわかりますが、ここに手を入れずに業務を外出する「アウトソーシング」はメリットを見出せないし、業務プロセスの画一化がなされなければ不可能な「共同アウトソーシング」は導入することはできないでしょう。業務を完全画一化するのは「合併」となら変わらない、という意見もありますが、高コスト体質からの脱却はこれらをなくしてあり得ないのではないかと考えます。

コンピュータシステムに特化して考えても、「現在の運用の仕方は”文化”であるので、システム側が合わせて当然」といった常識が蔓延してしまっているように思えます。これではシステムの共同利用や使用料制といった魅力的なプランをシステムベンダーから提示することが不可能になってしまいます。「法律」はもちろん「条例」まではシステムベンダーが地方公共団体に合わせ、運用はシステムに合わせるのが最適解と言えましょう。こうなれば、どんどん広域での業務統合やアウトソーシングが可能になっていくはずですが。

「Local Government」である地方公共団体は、本当の意味での「ガバナンス」を内部で敢行することで、まだまだコスト削減の余地は残されているでしょう。

社内紹介 顧客支援グループ

■顧客支援グループとは～

弊社では顧客支援グループというサポート専用部署を設けております。

このグループは弊社システムの操作、運用のサポート、不具合の受付等システムをスムーズに運用して頂くためのお客様専用窓口です。日々お客様の疑問に素早く回答することはもちろん、いただいた内容を集計・分析し、結果をシステムへ反映させる重要な役目を担います。

本年度の顧客支援グループの新しい取り組みとして、お客様への積極的な情報発信を掲げました。弊社営業時間外のお困りごとに対処するための試みです。

具体的には弊社Webサイトにて今までお問い合わせの多かったご質問内容をFAQとして公開いたします。

その一例として「公営住宅管理システム(住まいる)」ではFAQの内容としては以下のようなものを予定しております。

Q1:年度繰越をするタイミングはいつですか？

A1:新年度家賃算出のための収入調査入力前までに行ってください。

年度繰越を行っていないと、新年度のマスタ等が作成されておらず、収入調査画面入力をする際に控除が表示されません。

年度繰越処理: <<住まいるG>> 【住宅管理】→【システム管理】→【年度繰越】

<<住まいるGS>> 【1:住宅管理】→【1.12:システム管理】→【1.12.1:年度繰越】

Q2:固定情報の【当年度】を変更するとシステムのどのよう変わるのでしょうか？

A2:システムでの表示が変更になります。

例えば…

① 住宅台帳を見たときに、調定・収納状況が【当年度】の表示となります。

② 各帳票や処理の【会計年度】が【当年度】表示となります。

但し、表示は任意の年度に変更できます。

Q3:納付区分の変更方法は？

A3:科目により設定方法が異なります。

◆ 住宅使用料:該当の世帯を住宅台帳に表示します。【処理】→【申告受付】→【口座変更】にて納付区分を変更します。

⇒世帯マスタ・調定マスタの「納付区分」が連動して変更します。

◆ 駐車場使用料(駐車場管理を使用している場合):駐車場管理より変更したい契約者の変更画面を表示します。納付区分を変更しデータを更新します。

⇒調定マスタの納付区分は自動的に変更になりませんので、手作業で調定マスタの納付区分を直接変更する必要があります。

◆ その他の科目(共益費・浄化槽使用料など):調定マスタの納付区分を直接変更してください。

口座データの作成・及び納付書の納付区分は調定マスタの納付区分によります。一度、口座データを作成後に納付区分を変更した場合は、あらためて口座データの作成を行ってください。

駐車場:契約内容変更:<<住まいるG>> 【駐車場管理】→【契約者入力】→「契約内容変更」

<<住まいるGS>>【4:駐車場管理】→【4.1:契約者入力】→「契約内容変更」

調定マスタ修正:<<住まいるG>> 【収納管理】→【調定異動処理】→【調定マスタ修正】

<<住まいるGS>>【2:収納管理】→【2.1:調定異動処理】→【2.1.2:調定マスタ修正】

「公営住宅管理システム(住まいる)」のFAQは、
「システムバンク公式Webサイト」→「よくある質問と答え(サポート情報)」をご覧ください。
正式な公開は11月30日を予定しております。
その他のシステムにつきましては順次掲載していきますので、システム運用の補助としてご利用下さい。

■顧客支援グループの実績

公営住宅管理システムにおいて最近特に多かったご意見が「定期リリースの入れ替え手順がわからない」です。

この問題を改善すべく、9月の定期リリースではインストーラを使用し簡単にファイルの入れ替えが行えるように変更いたしました。この結果、お客様より「簡単に入れ替えられるようになった」との評価を頂きました。

弊社システムラインナップ

弊社にて自主開発しております、メインのパッケージシステムをご紹介します。住まいるGS、万財-BANZAI、法人-NORITO、水仙-SUISEN、PASSの5つのシステムについては自治体様向けになります。FASSについては民間企業様向けの財務会計システムとなっております。詳細につきましてはWebサイト(<http://www.sbn.co.jp>)、又は弊社営業部までメール(eigyo@sbn.co.jp)又はお電話でお気軽にご連絡下さい。



公営住宅管理システム「住まいるGS」

平成5年の発売以来、現在全国119の地方公共団体に導入していただいた住まいるシリーズ。おかげさまで数多くのバージョンアップを経て、『住まいるGS Suite』(以下「住まいるGS」)が完成いたしました。「住まいるGS」は住まいるシリーズの中でも合併に対応したバージョンです。システム内に「地区」を持つことで、単体の地方公共団体はもちろん、異なる計算方式の地方公共団体が合併した場合にでも運用が可能になります。



公有財産管理システム「万財-BANZAI」

行政改革の進む昨今、市町村合併に伴う公有財産の管理部署負担の爆発的増加が大変問題になっています。一例として、合併する地方公共団体の各管理台帳を一枚一枚すべて書き直したり書き足したりしなければならない、期中異動分の大幅な増加やその他を反映させる統計資料や調書などすべて作成しなければならない、更にすべてミスなく行わなければならない等といった問題です。

また、合併後は通常の業務でも、管理すべき公有財産の拡大によって、自ずと公有財産の管理部署での負担増が大きな問題になります。そうした業務負担を大幅に軽減するのが公有財産管理システム「万財-BANZAI」です。



法人住民税システム「法人-NORITO」

地方公共団体において、法人住民税業務は、ほとんどが手作業で集計処理しているのが現状です。本システムでは、各法人または税理士から申告される申告書を入力することにより、その入力データを基にした調定・収納・統計資料作成までの一連の業務をフルサポートしています。

当然、未申告法人の管理、延滞金管理、加算金管理や、歳入・歳出の自動判定などわずらわしい処理を自動化することにより、担当者が情報を柔軟に活用できる仕組みとなっています。このシステムは、基幹業務との連携等を考えずに、単独での稼働が可能のため、システム環境面でも他のシステムとの相性を問わず導入可能なシステムです。



上下水道料金システム「水仙-SUISEN」

上下水道料金システム「水仙-SUISEN」は検針・調定・収納の3つのシステムで構成されているため、各地方公共団体で制定される条例にも柔軟に対応できるシステムになっています。市町村合併対応はもちろんのこと、簡易水道、農業集落排水等の管理も区分をわけることによりスムーズに処理することが可能です。また、弊社公営企業会計システム(PASS)を導入することにより、調定・収納データの連携が可能となります。



公営企業会計システム「PASS」

公営企業会計システムは伺い伝票入力、支出負担金行為の入力、仕訳伝票の入力と事務の流れに沿っての伝票管理が可能です。また、合計残高試算表・総勘定元帳・予算執行状況表等の管理資料において計算ミスや転記ミスがなくなり、すばやく正確な資料作成が可能となります。

システム導入により、事務作業の省力化を図ると同時に、作業の標準化が行われるため、管理資料の体系化が可能です。また、これにより担当者の異動時に伴う業務の引き継ぎがスムーズになります。

過年度のデータ検索が、年度指定のみで簡単に照会できます。これにより、過去の会計事業内容が把握でき高い管理効果が得られます。

- ・消費税申告書関係資料が作成できます
- ・予算編成時期における予算要求書および見込合計残高試算表等の資料が作成できます。
- ・決算統計とのデータ連携ができます。



財務会計システム「FASS」

「FASS」は、組織体系や規模、業種にとらわれない会計システムです。多種多様な導入実績で、一般企業における会計業務をサポートします。※「FASS」はFinancial Accounting System Series = 財務会計シリーズの略称。

- ・日々における伝票の起票作業、月末での帳簿作成、貸借対照表・損益計算書などの財務諸表を電子管理にて正確・即座に閲覧・出力が可能です。
- ・過年度の帳票出力や、データの照会が容易に行えます。また前年度との対比表や、3年(期)での比較帳票など、過去の事業内容との差違が把握でき高い管理効果が得られます。
- ・当年度内での実績の推移や、予算と実績の比較表など事業内容を統計的に確認できる帳票もご用意しています。
- ・伝票入力時に即時に消費税を計算する「都度税抜き」、月単位にまとめて消費税を計算する「一括税抜き」とどちらの運用方式にも対応しており、科目ごとに課税・非課税をまとめた消費税帳票もご用意していますので、申告時の資料作成作業が軽減されます。
- ・単一組織や、約400部門に分かれる組織。売上高も上は数百億まで。多種多様な業種への導入実績があります。

編集後記

入社してからというもの、学生時代とは比べ物にならないほど時間が過ぎるのを早く感じます。2ヶ月も前に開催したシステムモール2006がまるで1週間前のイベントのように感じられます。

さて入社して半年、道内を車で回るのは初めての事ですが、時には未知の発見があり、楽しみながら仕事をこなしています。お客様との話の中で仕事以外に、この時期にはこんなお祭りがある・意外なところにとても景色の良い場所があるなどの情報を頂くこともあります。せっかくなのでそういった情報は今後弊社Webサイトのブログ等で積極的に取り上げていきたいと思っております。

最近めっきり寒くなってきましたが、皆様も風邪などひかれませぬようご注意ください。ちなみに弊社でも一時期、部署別に風邪が流行ってしまいまして、自分もひどい目にあってしまいました。。それではまた次回!(T・F)